



『私たちは時代が求めるシステムを
先端技術で創造します』

株式会社 省力化技研
代表取締役 加藤 秀義

株式会社省力化技研は、創業者である加藤秀義が1978年（昭和53年）大阪から出身地の日吉町にUターンし、自宅で加藤機械設計事務所を個人創業でスタートして以来、25年が経過しています。当時の鹿児島の製造業は省力化、自動化による作業効率、低コスト化、品質強化等への取り組みは中央に比べてかなり遅れていたようです。地道な活動が少しずつ評価され、機械設計主体から製作まで手がけるようになり、さらに電子部品の委託生産を始めるなどして業務拡大を図ってきました。

当社の経営理念は「我々は魅力ある会社を創り社会の発展に貢献し従業員の生活向上を実現する」であり、「品質マネジメントシステムの有効活用と継続的な改善を通じて顧客第一主義を貫きより良いものを安く早くを極める」という品質方針を推進するために、精機事業部において2001年2月に品質管理および品質保証の国際規格であるISO9001を認証取得しました。これは多様化する業務の標準化、業務改革によるコストダウンと従業員の意識改革による体質強化を狙ったものであり、お客様に対し更なる信頼獲得のツールとして活かしております。

現在の主な業務は、精機事業部で電子部品メーカー向けの半導体製造装置、各種製造業向けの自

動化、省力化装置、専用ロボット等の開発を手がけ、電子部品事業部で通信機器用電子部品の精密実装から組み立て、検査、包装工程まで一貫して行っています。

これまで開発してきた製品例としましては、IC搭載のリードフレームを金型でカット、フォーミングし、インデックスによるステージで電気特性の測定、各種の検査を画像認識にて行い、良品のみをエンボステーブにテーピングする全自動テーピング機、自動投入取り出し装置付のレーザーマーキング機、電子部品を自動で組み込む精密実装機、電子部品検査装置等の半導体関連設備があります。また、食品製造関連の設備では、温泉水入りペットボトル自動移載機、焼酎入り紙パック自動移載機、お菓子製造機等があります。

今後は、半導体設備等で培った技術を独自商品開発と地場に密着した設備の提供により地域に貢献する事と「卓越した技術と魅力ある人間性」を兼ね備えた人材の育成と、少数精鋭にして機動力ある組織作りを目指します。最近では、工業技術センターの機械技術部で1年間の長期にわたり切削加工、測定、CAD/CAM技術の指導を頂きました。今後も、技術の向上を図るために工業技術センターで開催される技術研修会等へ積極的に参加したいと思っております。



本社開発棟



研究開発室